

ま
先ず 咲く花

2月4日は「立春」。暦の上では春とはいえ、まだまだ寒さが続きます。それでも少しずつ春の気配が感じられるこの季節、ほかの花に先駆けて黄色い短冊状の花びらをたくさん付ける「マンサク」が咲き始めます。東北弁の「まんず 咲く花」が語源ともいわれています。また、たくさん花びらを付けることから「豊年満作」や「万作」ともいわれ、縁起の良い植物の一つとして知られています。

水原秋桜子の俳句に『まんさくや 小雪となりし朝の雨』とあります。朝の雨が寒さで雪となる中でも咲き誇るマンサクを詠んだものです。

ところで、雪深い白川郷の合掌造り家屋にマンサクは欠かせません。ネソと呼ばれるマンサクの枝は、釘を使わない合掌造りの骨組みを結束する縄として使われます。ねじったり叩いたりして繊維を細かくしたネソは、年数がたつほどに締まって頑丈な結束になります。ネソづくりができることが一人前の男と認められる条件だったようで、若輩者への「ようネソもねらんで…」という言い回しもあったようです。しかし今では「ネソをねる」技術を身に付けている人の方が少なくなってしまったそうです。

失われつつある日本の伝統文化や先人の知恵・技術を守り、古き良きものを大切に作る心が、自然を守ることにつながるのではないのでしょうか。



森	の
日	記

いい眺めですよ！

陶史の森で眺めのいい場所は3カ所あります。「白磁の道」にある標高300mの東屋と「天目の道」にある標高274mの東屋、そして一番のお勧めは、「青磁の道」にある手作りの丸太製のベンチが2つ置かれた展望台です。標高は297m。北には裾野まで見える雄大な御嶽山、やや東側に駒ヶ岳連峰。さらに東に目を移すと、稚児岩大橋の向こうに屏風山、その奥には恵那山の頂上が見えます。空気が澄んでいる日は、北西方向の遠くに白山、真西には伊吹山が望め、南西の方角の山陰の間に名古屋駅付近のツインタワーなどを見ることがもできます。

この時期の午前10時頃になると、ベンチに座りきれないほどのウォーキング仲間が、一休みをしながら眺めを楽しんでいます。あなたもいかがですか？



御嶽山



駒ヶ岳連峰

教室のご案内

2月

シイタケ教室(要申込・定員30人)

2月3日(日) 9:00~11:30

原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学ぶ。原木は1家族1本です。約1年半後に収穫できます。

バードウォッチング(自由参加)

2月24日(日) 9:00~11:30

早春の野鳥を観察(雨天中止)

3月

自然教室(自由参加)

3月10日(日) 9:00~11:30

春を待つ木の芽や草の芽を調べる

バードウォッチング(自由参加)

3月24日(日) 9:00~11:30

春の野鳥を観察(雨天中止)